

# 編集後記

今月号から、榎沢先生の「現象学から保育の世界を見る」、松本先生の「子どもの生活と福祉の歴史」が始まります。一年間、六回の連載から、私たち大人が子どもと共に暮らすとき、大切にしたいことを一緒に考えてみたいと思います。

\*

先月号に原口先生が紹介された『木のいのち木のころ』の〈人〉<sup>じん</sup>を読みました。法隆寺の棟梁・西岡氏の弟子である小川三夫氏の興した鶴工舎<sup>いづか</sup>の、若き宮大工たちへのインタビューからなるこの巻を読んできくと次のような言葉に出会います。「こんなに若い人だけでつくって

けるんですから、不思議です。(略)でも実際に出来上がってみると、ああ、やっぱりすごいなと思いますね、鶴工舎は」「仕事をするのはほくらなんです。そうしたら何でもできるんです。(略)時間はかかるにしても……」「ここは、俺たちは未熟で何にも知らないけど、やるときは納得するまで勝手にやらせてくれる」などなど。宮大工の技術に不案内な私にも、鶴工舎で実践されている「育てる」師と「育つ」弟子たちの姿が伝わってきます。やればできることを知っていて任せる者がいる。やってみて自分にもできることを知る者がいる。「個性を殺さず、癖を生かす」が小川氏のモットーだという。あちこちの言葉が相手を信じて任せることの意味を私に語りかけてきました。(A)

## 幼児の教育

第九十六巻 第四号

(一九九七年四月号)

定価四六〇円(本体四三八円)

発行 平成九年四月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112東京都文京区大塚二―一―

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108東京都港区三田五―二―

発売所 フレーベル館

〒113東京都文京区本駒込 六一―四―九

六一―四―九

☎〇三―五三九五―六六一三(営業)

☎〇三―五三九五―六六〇四(編集)

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。